



光と走りが車の表情を変える



ラッピングとの出会い

車をカスタムすることが趣味で、他の人と被る色があまり好きではないんですよね。これまでも車高を落としたり、細かいカスタムをしていました。

きっかけは、今のコルベットでホイールを変えたところ、車体のグロスの黒と合わない感じがして、少し光沢感を落とせばすごくバランス良いんじゃないかと。もともとデザイナーという仕事柄もあり、よりデザイン感性を追求した色に変えてみたくなりました。

ただ車が新しいこともあり、全塗装にはあまり踏み出せずにいました。そこで、手頃に数年サイクルで色を変えられる手法はないかなと調べたところ、たまたま見つけたのが3Mさんのラップフィルムでした。

それが初めての経験でしたが、ラッピングで色を変えようと考えたのが始まりです。

絶妙な色使いと光の加減で 車の輪郭を演出するサテン

3Mのフィルムは一言で言うと、良すぎますね、本当に。まず色が上品だなと思います。あまり過激過ぎないし大人し過ぎない、絶妙なバランスの色使いです。

例えばサテンシリーズ。絶妙な色使いで、光加減とかが凄い。マットとかは光を吸収するので、ボディのエッジ部分が光らないんですが、逆にグロスが全面がテカテカ。このサテンっていうのは、半分艶あり半分艶なしっていうところがLEDや街灯、直射日光とかの角度によって光り方が変わって見える。エッジの部分が際立って光って、絶妙にかっこいいです。見る角度や走りて光が動くんで、何とも言えない良さがある。

街中を走っていても嫌らしくないし、施工がしっかりしていれば塗装と遜色ない、でもなかなか塗装では出せない色なので、そういった絶妙なところで良いですよ。



上品な色と安心の品質

実は、趣味で自分の車にラッピングしたことがきっかけで、施工ガレージをオープンしました。3Mの施工認定を取って、今はツーリング仲間の車にラッピングさせて頂いています。

その時も、3Mさんのものは本当にお勧めしやすい。前述の色についても、次のお客さんの車にはサテンのボルカニックフレアを貼るんですが、絶妙な色なんですよね。ゴールドでもないし、黄色とかワインレッドとか、光の角度や加減で様々な表情に変わる。お客さんにお勧めしたら、これいいねってなって。



ラッピングを剥がしても 塗装を傷めない

3Mさんのフィルムは綺麗に剥がせるので、車体の糊残りがほとんどありません。他社さんのものは、ざらざらになって糊が残るものもあります。3Mさんのクリーナー30を使えばきれいに落ちるんですが、全面に糊が残っていると、落とすのがすごく大変。また、他社さんのだと破れちゃって剥がし辛いこともあります。

3Mさんの試験車で、7年半経ったフィルムを剥がした写真を見たんですが、糊残りがほとんど無くて素晴らしいかったです。施工者としても、デザイナーとしても、そしてカーオーナーとしても、3Mさんのフィルムを一番にお勧めしたいですね。



お名前：M夫妻
お住まい：東京都足立区
お仕事：グラフィックデザイナー、カーラップフィルム施工店
趣味：ツーリング
車種・モデル：シボレー Corvette
施工箇所：フルボディ
施工フィルム：2080-S12 (サテンブラック)
施工店：デザインワークス <https://d-w.info/>

Gallery

